



わかたけ

学校通信

練馬区立大泉西小学校
学校通信 6月号
令和 2年 6月 2日発行
編集責任者 校長 青山 直志

<http://www.oozumi-w-e.nerima-tky.ed.jp/> 学校HP 毎週更新中!

第二波への備え

校長 青山直志

六月一日より学校再開、約三か月ぶりの子供たちの元気な声に私たち教職員も何かホッとした気持ちになりました。

この間、保護者の皆様には大変なご苦勞をお掛けしたことと、お詫び申し上げたいと思います。いつ起こるかかわからない非常事態に普段から備えておかなければならない。当たり前前のことでありながら、ここまでの事態を想定できなかった(しなかった)教育現場の甘さを痛感しました。

ICT機器の導入、特に児童生徒一人に一台のタブレット端末の配備の必要性は以前から議論されてきました。勿論、莫大な血税を投入することも領すから、慎重論があることも領けます。しかし、いち早く導入していた自治体は、この休業期間中、教員と子供たちが双方向で学習を展開しており、忸怩(じくじ)たる思いに駆られたのは私だけではないでしょう。

本校では毎週木曜日を基軸に、学習課題プリントの解答や解説、学級担任からのメッセージ等を学校ホームページに掲載することで、子供たちと何とか繋がりをもとうとしました。練馬区小学校教育会は、学習課題の情報等を集約し、練馬区どの教員も使用できるよう整備しました。練馬区教育委員会はYouTubeチャンネルを開設し、動画配信できるようにしました。これらは、学校が再開したことにより、取り敢えず休止となりますが、新型コロナウイルス感染の第二波がやってくることは専門家が指摘しているところです。万が一そのような事態になった時は、更に効果的に機能するよう準備を進めておきたいと考えます。

また、学校では「三つの感染」について学習し、その防止に努めていきます。一つ目は、新型コロナウイルスそのものの感染です。東京都のガイドラインに沿って、「三密」を避ける行動様式を身に付けさせます。

二つ目は、「不安と恐れ」の感染です。特効薬やワクチンが開発されていない今、私たちは強い不安や恐れに振り回されてしまいます。子供たちが「自分を支える力」を失うことがないよう、カウンセリングを適切に行っていきます。

そして三つ目は、「嫌悪、偏見、差別」の伝染です。不安や恐れは人の生き延びようとする本能を刺激し、ウイルス感染に関わる対象を遠ざけようとなります。そのことにより、人と人との信頼関係や社会の繋がりが壊されることがないよう、人権教育や道徳教育を学校一丸となって推進していきます。



6/1「三つの感染」の授業

感染防止のための対策

副校長・片柳尚子

5月27日付の通知文で本校の感染防止策をお伝えしましたが、補足説明させていただきます。

- 1、登校を控える：お子様の発熱や風邪の症状は勿論のこと、ご家族の方にそのような症状があった場合も同様です。欠席扱いにはなりません。判断に迷う場合は学校にご相談ください。
- 2、体育授業のマスク：熱中症の危険性から、マスクなしで授業を行うことを原則としますが、マスクを外すことにご不安がありましたら、その旨、連絡帳で学級担任にお伝えください。
- 3、トイレと手洗い：トイレは定員以上の人数にならないよう、廊下に待つラインを引いてあります。また、手洗い場も密集しないようラインが引いてあります。固形石鹸は全て、液体石鹸に切り替えました。

※感染状況を勘案し、対策を緩和する場合は改めてお知らせいたします。

大西小の感染防止策 2020.6.1

登校したらまず消毒



教員はフェイスシールド着用



教職員の一齐消毒&清掃
児童の清掃はなし



市松模様の分散授業

冷水器は使用禁止



固形石鹸から液体石鹸へ



どの教室にも消毒薬配備



徹底した2方向換気



トイレを待つライン



体育館横ミーティングルームは
発熱した場合の避難場所



校庭遊具は使用禁止

